

令和7年度第1回下野市図書館協議会議 議事録

審議会等名 令和7年度第1回下野市図書館協議会
日 時 令和7年5月29日（木）午後2時から午後3時まで
会 場 下野市役所3階 303会議室
出席者 鈴木一恵委員長、鈴木秀男副委員長、大垣玉枝委員、石井幸代委員、松本有幸委員、
高木智子委員、白石恵子委員、齋藤佳代子委員、大橋珠恵委員
【欠席】下山千恵子委員
事務局 生涯学習文化課 野口修一課長、猪瀬貴之課長補佐、小林あかり主査
公開・非公開の別 （ ☐ 公 開 ☐ ・ 一部公開 ☐ ・ 非公開 ☐ ）
傍 聴 人 なし
報道機関 なし
議事録（概要）作成年月日 令和7年5月29日

協議事項等

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

（1）令和6年度図書館利用状況について

（事務局）資料に基づき説明。

【質疑等】なし

（2）令和6年度図書館外部評価について

（事務局）資料に基づき説明。

【質疑等】

（松本委員）委員評価のデータ入力が不可であった部分について、別途メールを送ったが反映されず残念であった。

（3）令和7年度図書館事業計画について

（事務局）資料に基づき説明。

【質疑等】

（大垣委員）南河内館で実施された「いきいき美容教室」について、当日の様子や参加人数等お伺いしたい。

（南河内図書館）5月23日に実施した。65歳以上の男女を対象とし、女性18名、男性1名が参加した。メイクを落としてからストレッチを行い、その後講師のメイクの様子を見ながら自分もメイクをするという流れで行った。参加者は笑顔で帰宅され、男性参加者もUVケアや眉メイク等初めての体験と言っていた。参加者に満足していただくことができた。

（大垣委員）企画したきっかけはどのようなものか。

（南河内図書館）児童向けの講座がメインであったが、利用者アンケートで一般向けの講座を希望する声があったため。講座は盛況であった。

（松本委員）石橋館と国分寺館で読み聞かせボランティアの講座を開催しているとのこと、各地域に

ボランティアが増える可能性があり良い取り組みだと思う。

(鈴木委員長) 国分寺館の対象は「高校生以上」となっているが、高校生に対してはどう告知したのか。以前高校生の読み聞かせを聞く機会があったが大変すばらしかったので、高校生のボランティアも増やせると良い。

(国分寺図書館) ホームページやSNSで発信している。

(高木委員) 南河内館にて、ライブラリーブックサーカスとしてビブリオバトルを実施するとのことだが、事前のレクチャー等は考えているか。初めての参加者にとってはやり方が分からずハードルが高い可能性がある。

(南河内図書館) バトラ募集後、リハーサルの機会を設ける予定である。また、職員が事前に壬生の図書館にビブリオバトルの見学に行く予定である。

(鈴木委員長) ビブリオバトル定着のためにも、ぜひ良い仕掛けを。

(松本委員) 令和6年度評価にもコメント記載したが、社会教育委員会議からビブリオバトルの検討を求められている。今回の南河内館での実施はこれを受けてのものか。

(石橋図書館) ビブリオバトルの実施を提案している社会教育委員が図書館に来館し同様の要望を述べられたため、まずやってみようかということで実施に至ったもの。

(事務局) 子ども読書推進計画にも、ビブリオバトルの普及については記載されているため取り組んでいきたい。小学校でも試験的に取り入れていると耳にしたことがあるので、今後経験者が増えていく可能性もある。

(齋藤委員) 中学校では図書委員会で実施している学校もある。

(委員長) 読書離れが進んでいるため、こういった仕掛けづくりで読書好きな子供を増やしていくことができればいいと思う。

(4) 令和7年度図書館協議会回議スケジュールについて

(事務局) 資料に基づき説明。

【質疑等】 なし

(5) 読書活動推進計画策定に伴う利用者アンケート案について

(事務局) 資料に基づき説明。

【質疑等】

(石井委員) 図書館のあり方についての項目は、県内市町に立派な図書館が建設されていることは承知しているが、本市でも何か具体的な考えがあるのか。

(事務局) 具体的な計画はないが、3館とも建物の老朽化が進み更新時期が近付いているため、今後のあり方について参考となるようなデータを取りたいという趣旨である。

(松本委員) ボランティアの仲間内でもこういった話題が出た。真岡や桜川市の図書館を見てきたのだが、建設の際のコンセプトが大変重要と感じた。コンセプトをきちんと自分たちで考えてから業者へ依頼しないと、予想と違うものができてしまうということが考えられる。アンケートを取るのには住民の意見を知るという意味で意義があると思う。

(鈴木副委員長) より具体的に書いてもらうような形にし、意見が反映されやすいアンケートにすると良いと思う。

(松本委員) 真岡の新図書館はシステムが自動化されており、貸出はすべて自動となっていた。管理コストを下げる努力と評価できるが、借りる側からすると多少の不便さは感じる。対面のやり取りを好む人もいると思う。

(石橋図書館) 対面と機械と、利用者がどちらも選ぶことのできる方式が好ましいのではないか。

貸出等の自動化を行うことで、よりレファレンス等利用者の求めることに時間を割くことができるという面もある。

(事務局) アンケート案については、修正案を改めて委員に通知し意見を伺いたいと思う。

(大垣委員) 議題から離れるが、野木町では新小学1年生に絵本を贈る取り組みをしているという。

下野市も赤ちゃんに絵本を贈っているようだが、新1年生に対して絵本を贈る取り組みを提案したい。

(事務局) 予算の都合上直近での実現は難しいが、野木町の状況等も調査し検討していきたい。

(高木委員) 読書バリアフリーを計画に盛り込むのであれば、アンケート内に「デイジー資料やLLブックをご存じですか」といったような設問も追加してはどうかと考える。

4. その他

(事務局) 次回会議について案内。

5. 閉会